

「考える葦」

保健体育科 伊藤 春好

皆さんの好きなものは何ですか？私は、とにかくスポーツが好きです。することも見ることも調べることもスポーツにかかわることだったら、大概のことは好きです。人間は好きなものだと言張られて、反対に嫌いなことであればなかなか手をつけられないものです。察しのいい人ならわかると思いますが、私は読書が嫌いなのです。メ切も近づきようやく書き始めた文章で何を伝えられるか考えましたが、なかなか見つかりません。なぜなら、「嫌いなもの」のいいところなんてなかなか説明できるものではないからです。おそらく、私よりも皆さんの方が読んでいる冊数も多いだろうし、読書の面白いところもたくさん知っていることだろうと思います。

だから私は、嫌いなものではなく好きなものを紹介しようと思います。そんな私が、悩んだ末に選んだ本は「アオアシ」という本です。本というか漫画です。この漫画はサッカーを題材にした漫画なのですが、サッカーが好きな人も嫌いな人も楽しめる作品となっています。是非、読んでもらえたらと思います。このままでは、ただの漫画の紹介になってしまうので、この「アオアシ」をケーススタディとした、『アオアシに学ぶ「考える葦」の育ち方』という本を紹介したいと思います。

この本では、アオアシのメインテーマである「考える力」についてわかりやすく解説してくれています。例えば、「考える人」と「考えない人」の違いについてです。「考える人」は「観察→判断→実行」のループを高速回転しているそうです。逆に「考えない人」は、言われたことをそのままやるなど、単に「実行」を繰り返すのだそうです。この短い文章で具体的な内容を説明することはなかなか難しいですが、「考える人」になるための思考であったり行動であったりを説明してくれています。

この本の中で私が印象に残っている内容について紹介したいと思います。それは、**知識が習慣になるまでの壁**についてです。本誌では、知識の壁、行動の壁、気づきの壁、技術の壁、習慣の壁が存在していると書かれています。わかりやすく書くと、知る→やってみる→わかる→できる→しているということだと思います。とくに大事だと思ったのが「やってみる」ことだと思います。「やってみる」の壁を越えないと「わかる」には到達できません。何事もまずはやってみることが大切であるということに改めて教えられました。この壁については勉強にも当てはまるのではないのでしょうか。授業で習ったことを身につけるまでに一つ一つの壁を意識することでより明確に実践できるのではないかと思います。

最後に、この本は自分で考えて動ける人になるために、どういったことを考え、行動すれば良いのかがわかる一冊になっています。興味がある方は、購入して読むか私のところに来ていただければ貸しますので、是非読んでみてください。


参考文献

中山進也 2022『アオアシに学ぶ「考える葦」の育ち方～カオスな環境に強い「頭の良さ」とは～』
小学館

(※ 紹介していただいた上記の本は2月に購入する予定です。)

2023年、いいスタートがきれましたか？今年こそ、みんなが穏やかな気持ちで過ごせる年になるといいですね。

図書委員オススの本

	『和菓子のアン』 坂本司【著】	5年1組 山本和奏
	デパ地下の和菓子店でアルバイトをすることになった梅本杏子(アンちゃん)は食べることが大好きな18歳。個性的な仲間と囲まれながら、和菓子の奥深さを学びます。和菓子の名前に込められた意味から人の心を知り、成長していく……。	
	この物語は、五つの連作短編から成っていて、一話ごとに和菓子にまつわる謎が解かれていくところが、奥深く、面白いです。	

～新刊紹介～

- | | |
|---------------------------|----------|
| ○ 『光のどこにいてね』 | 一穂ミチ【著】 |
| ○ 『現代文解釈の基礎』 | 遠藤嘉基【著】 |
| ○ 『現代文解釈の方法』 | 遠藤嘉基【著】 |
| ○ 『本好きの下剋上 第三部領主の養女』(I～V) | 香月美夜【著】 |
| ○ 『silent シナリオブック完全版』 | 生方美久【著】 |
| ○ 『岸边露伴は倒れない 短編小説集』 | 荒木飛呂彦【著】 |
| ○ 『爆弾』 | 呉勝吾【著】 |
| ○ 『方舟』 | 夕木春央【著】 |
| ○ 『声優になるには』 | 山本健翔【著】 |
| ○ 『DRY』 | 原田ひ香【著】 |
| ○ 『〈あの絵〉の前で』 | 原田マハ【著】 |
| ○ 『小さいことが気になります』 | 益田ミリ【著】 |

～お知らせ～

- ★ 2学期や冬休み中に借りている本は、なるべく早く返却してください。
- ★ 2学期までに図書館で借りた本の冊数を図書カードに記入しています。目標は、「6冊以上の貸出」で、目標を達成した人のカードには、シールを貼っています。
シールのない皆さん、ぜひ1・2月に目標を達成して、充実した気持ちで新しい学年に進みませんか？(3月は年度末のため、3日で貸出を終了します。)
- ★ 本年度2回目の読書調査を1月23日～25日に行います。
「4月1日から1月22日までに何冊の本を読みましたか」という調査です。学校の図書館で借りた冊数については、皆さんそれぞれの調査用紙に記入していますが、それ以外の本については、記入できるよう自分で準備をしておいてください。